

平成25年度メキシコ海外実践教育プログラム派遣学生募集要項

1. 教育目標

「持続的生存環境社会構築に向けた人間力を備えた国際的に通用する人材の育成」

社会の高度化にともない持続的生存環境社会構築は地球規模の課題となりつつある。本プログラムでは、本学のこれまでの教育研究上の蓄積を活用・発展させ学際的・実践的教育を展開し、人間力を備えた国際的に通用する人材育成を教育目標とする。

学生は正課において専門的語学、学際的講義及び実践的フィールドワークに取り組むものとする。また正課外においても学生は学生相互及び現地の人々と積極的に協働し、本プログラムの教育目標の達成を目指すこととする。

2. 実施期間（予定）

派遣前オリエンテーション及び事前語学研修：平成25年5月下旬～出発前まで

※授業と重複しない日時で実施する。

日本出発日（鳥取発） 平成25年8月8日頃

デービス英語研修：平成25年8月9日（金）～9月6日（金）（4週間）

ラパス現地実習：平成25年9月9日（月）～12月6日（金）（約3ヶ月間）

（ラパス滞在期間：平成25年9月7日（土）～12月9日（月））

日本帰国日（鳥取着） 12月11日（水）頃

帰国後研修：平成25年12月中旬～平成26年2月上旬

帰国後報告会（学内）：12月下旬にかけて2回程度

帰国後報告会（学外）：平成26年1月下旬

3. 実施場所

デービス英語研修：カリフォルニア大学デービス校エクステンション

（米国カリフォルニア州デービス市）

ラパス現地実習：南バハ・カリフォルニア自治大学（UABCS）

メキシコ北西部生物学研究センター（CIBNOR）

（メキシコ合衆国 南バハ・カリフォルニア州ラパス市）

※語学・講義実施・・・UABCS、フィールドワーク実施・・・CIBNOR

4. 募集学生数：20名程度（各学部2年生以上）

5. 応募資格

「国際的な活動に関心のある学生で、事前オリエンテーション及び事前語学研修に参加できる者」

※事前オリエンテーション・語学研修は土曜日もしくは平日の早朝・放課後に実施される場合もあり。

6. 応募方法

応募理由書 800字程度（所定の様式使用）を添付の上、申込書を教育支援課、もしくは医学部学務・研究課へ提出すること。

7. 応募書類の提出期限：平成25年4月22日（月）17:00

8. 選考方法

TOEIC及びGPAによる評価に加え、応募理由書と面接を重視して選考する。

9. 選考面接について

面接時間は個別面接とし、一人あたり15～20分程度とする。面接日時は、4月23日（火）～5月10日（金）の間に実施し、日程については追って個別に調整する。

10. 選考結果の通知：5月中旬頃

1 1. 参加費用

- ・ 航空券代の一部（15～20 万円）
- ・ 海外旅行保険（約 7 万円）

<アメリカ>

- ・ 米国学生ビザ申請代（140US ドル（約 14,000 円））
- ・ SEVIS 費用（200US ドル（約 20,000 円））
- ・ ホームステイ登録料（240US ドル（約 24,000 円））
- ・ ホームステイ代（780US ドル（約 78,000 円））（1 日約 2600 円（26 ドル）・3 食付き）
- ・ アメリカ領事館（東京または大阪）までの交通費
- ・ アメリカ滞在期間中の外食、生活費、通学に必要なバス代、余暇実施のアクティビティ参加費等

<メキシコ>

- ・ メキシコ滞在期間中の食費・生活費・通学に必要なバス代等
- ・ ホームステイ代（4,000 ペソ／1 ヶ月＝約 32,000 円）

1 2. 奨学金の付与

独立行政法人日本学生支援機構が定める成績評価係数が 2.3 以上の学生については、最大 20 名までメキシコ 1 ヶ月 6 万円の奨学金を 3 ヶ月分経済状況に鑑みて支給する。（本奨学金受給期間は日本学生支援機構の他の奨学金は停止されます）

（※成績評価係数の算出方法については、募集説明会で説明の予定）

1 3. 実施科目

語学（2 単位）	スペイン語
講義（各 1 単位）	自然・生存環境概論
	国際コミュニケーション論
	中南米社会経済事情
	日墨比較文化
	地域開発と保全
	乾燥地科学概論
フィールドワーク	海外フィールドワークⅠ（自然・環境系）
（各 5 単位選択必修）	海外フィールドワークⅡ（社会・経済系）

1 4. 単位の読み替え

メキシコ海外実践教育プログラムで取得する単位は、各学部の専門単位への読み替えが可能である。詳細は各学部教務係へ照会のこと。

1 5. 現地での滞在

デービス：ホームステイ（4 週間）

メキシコ：9～10 月学生宿舎（2 ヶ月）、11 月ホームステイ（1 ヶ月）

※学生宿舎は 2 人一部屋（トイレ・バスルーム付き）とし、キッチン共有とする。

1 6. TOEIC 及びスペイン語検定の受検

メキシコ海外実践教育プログラム参加学生は下記の通り TOEIC 及びスペイン語を受験することとし、検定料については自己負担とする。

- ・ TOEIC：派遣前（6 月）及び帰国後（12 月または 2 月）
- ・ スペイン語検定（西検）：帰国後（6 月）

1 7. 学生募集説明会：下記の通り実施する。

《日 時》	《場 所》
第 1 回 4 月 9 日（火）16：30～18：00	（工学部）工学部棟 2 階 25 講義室
第 2 回 4 月 11 日（木）14：50～16：20	（医学部）生命科学科棟 1 階 511 講義室
第 3 回 4 月 12 日（金）16：30～18：00	（地域学部）地域学部棟 2 階 2440 講義室
第 4 回 4 月 15 日（月）16：30～18：00	（農学部）農学部 1 号館 2 階第 3 講義室

平成 25 年度メキシコ海外実践教育プログラム申込書（応募理由書）

【受付番号】

学 部		
学 科		
学生番号		
氏 名		
電話番号		
E-mail		携帯： PC：
保護者の承諾		有 無
本学主催の海外研修参加		有 無 有の場合：研修名（○をつけてください） ・台湾銘傳大学短期語学研修 ・夏期カナダ英語研修 ・アメリカ春期研修（アーカンソー） ・その他（ ）
語学力	TOEIC点数 （参考）	点 （ 年 月取得）
	その他語学資格 （英検、西検等）	級 （ 年取得）
応募理由		所定の様式に記述の上、参加申込書に添付して提出して下さい。
その他		奨学金（6万円×3ヶ月間）の受給がなくても、本プログラムへ参加しますか？ 参加する ・ 参加しない

提出先：教育支援課、もしくは医学部学務・研究課

応募締め切り：4月22日（月）17：00

平成25年度メキシコ海外実践教育プログラム応募理由書

(※手書きで記入して下さい)

1) 動機 (200字程度)

2) 本プログラムでの抱負 (現地に行って何をしたいのか?) (300字程度)

3) 帰国後本プログラムでの経験を何にどのように生かしたいか? (300字程度)